

## 上下水道局本庁舎外壁調査結果概要

令和3年度に実施した上下水道局本庁舎外壁調査結果の概要は、次のとおりです。

### 1 建物概要

- (1) 建物名称 上下水道局本庁舎（本館及び新館）
- (2) 所在地 盛岡市愛宕町6番8号
- (3) 竣工 本館：昭和48年  
新館：昭和62年
- (4) 構造 鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階、塔屋2階
- (5) 敷地面積 13,178.45m<sup>2</sup>
- (6) 建築面積 1,220.76m<sup>2</sup>
- (7) 延べ床面積 3,698.86m<sup>2</sup>
- (8) 各階床面積 地下1階： 617.10m<sup>2</sup>    1階    : 1,150.25m<sup>2</sup>  
2階    : 1,151.75m<sup>2</sup>    3階    : 711.88m<sup>2</sup>  
塔屋1階： 49.88m<sup>2</sup>    塔屋1階： 18.00m<sup>2</sup>

### 2 調査結果及び考察

調査は、令和3年8月から9月にかけて打診法により行った。

北面及び東面西面は高所作業車で、南面は一人乗りゴンドラでの打診調査を行った。

浮きの度合いは、打音の大きさにより「小」、「中」、「大」、「危険」の4段階としており、調査結果図においては、「小」を青色、「中」を黄色、「大」は淡い赤とし、落下の恐れがある箇所は「危険」とし赤色で表記した。

調査結果図に記入してある「数字」は、概ねの浮きの範囲で50角タイル、50角二丁掛タイルの浮きの範囲で横書きは巾、縦書きは高さの数字である。（ミリ単位。）

本館階段室の外壁は、吹付け仕上げが3層になっていて厚みも2.0ミリを超えている。仕上げ材の浮きかモルタルの浮きなのか判断がつかなかったため、モルタルの浮きとして記載している。実際の浮きの判断は、外装材を取り除いた後に再度行う必要がある。

外装タイルに亀裂が見受けられるが、打診調査では浮きがほぼなかった。

本館のタイル部は浮きがあちこちに点在しており、程度もまちまち。また、モルタル部は階段室が広く浮きがあった。

新館は、階段室塔屋2階と煙突部に広い浮きがある。その他は小面積の浮きがところどころにある。なお、窓廻りに破損箇所が見受けられる。